

第 95 号



人と人

発行

東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1 - 2 - 3

東村山市役所内

☎ 393-5111 内線2558

http://www.h-ifa.com/

平成23年度予算と平成22年度決算

1. 収 入 （単位：予算は千円、決算は円）

項 目	23年度予算額	22年度決算額
会 費	1,500	1,535,000
英会話講座収入	2,392	2,738,000
バザー事業収入	250	212,350
補助金	470	450,000
学生交流納入金	0	0
寄付金	10	12,000
繰入金	0	0
繰越金	1,643	1,959,093
雑収入	0	611
合 計	6,265	6,907,054

2. 支 出

項 目	23年度予算額	22年度決算額
会 議 費	80	36,330
消耗品費	100	69,606
印刷費	130	26,040
渉外費	100	55,217
翻訳費	1	0
通信費	160	21,350
使用料	200	16,600
委託料	1	0
備品費	1	0
親善訪問団派遣費	730	938,427
学生受入費	100	726,294
訪問者受入費	1	0
教育交流費	1	0
バザー費	200	144,350
英会話講座費	1,402	1,279,031
イ市行事協力費	1	0
日本庭園造園協力費	10	0
広報宣伝費	643	444,299
研修費	1	0
会員交流費	280	227,550
ホームページ管理費	130	126,630
諸支出金	200	151,717
積立金	1,000	0
繰出金	0	0
予備費	793	0
合 計	6,265	4,263,441

新体制でスタート

平成23年度総会では5月21日（土）、多数のご来賓と会員の出席のもと開催されました。新会長に岩瀬由明氏を選出。

総会は大野茂会長の挨拶に続き、来賓を代表してご挨拶を渡部尚市長、熊木敏己議長、熊木令次特別顧問に。特に熊木令次氏からはインディペンデンス市との姉妹都市提携の経緯や今後の活動に対する示唆に富んだお話を頂きました。次に来賓のご紹介に引き続き議事に入りました。

平成22年度の事業報告と会計決算及び監査報告、平成23年度の事業計画、予算、役員改選（案）が上程され何れも承認されました。特に大きな行事として

位置づけられている学生訪問団の受入れと派遣において、イ市学生訪問団の来日が中止となりました。東村山市からの学生派遣団は予定通り実施されます。新会長には岩瀬由明氏が選出され、大野氏は会長を退任し顧問として当協会の発展にご尽力いただくことになりました。

大任を担って



新会長 岩瀬 由明

5月の総会で7代目の会長として承認されました岩瀬由明と申します。私は33年前に市内の各団体に協会設立の呼び掛けがあった際、青年会議所の代表と

して参加して以来、微力ながらお手伝いをしてまいりました。このたび伝統ある国際友好協会の会長にご推挙を頂き、この時期この私を必要とされるならとお受けすることにしました。素晴らしいリーダーシップを発揮された大野会長の後任で荷が重いのですが、子ども達が生まれ育ち、多くのかけ替えない友人・知人・先輩のいる東村山のために汗を流す決意をいたしました。

当協会は、都内で現在海外と交流活動をしている中では最も古く、また活発に活動している団体と聞いております。これは行政のご支援や歴代の会長、役員、委員・会員のご尽力の賜物であります。

残念ながら大震災の影響もあり、今年度はイ市からの学生受入れは中止となつてしまいました。が、今年のイ市への派遣生の引率者も、昨年のイ市の引率者も、それぞれ元派遣生とのこと。ファミリー同士の交流と共に時かれた種が少しずつ育ち、喜ばしい状況になってきております。

渡部市長のスローガン、『バージョンアップ東村山』にちなんで、『バージョンアップ東村山市国際友好協会』の精神で全力で運営

して参りたいと思っております。協会にご縁のある全ての方々のご理解ご支援をお願いして、私の挨拶とさせて頂きます。

絆をバトンタッチ



前会長 大野 茂

2005年からの会長職を辞することになりました。1978年以来、イ市との伝統ある交流を維持発展されて来られた歴代会長諸氏の後任として、誠に責任重大な役をお受けできたことは光栄であり、身の引き締まる思いでありました。

6年間無事その任を務めることができたことは、会員各位、先輩諸氏、行政、支援者各位のご理解とご支援の賜物と心から感謝し、お礼申し上げます。

在任中は、9委員会から7委員会へ組織が改編され、会計処理が全面的に、また事務処理も一部が事務局から協会側へ移行されました。ホームページを開設することもできました。

主な行事である30周年記念行事は、両市民の相互訪問で交流の絆がさらに深まりました。学

平成23年度事業計画

- ☆会員（正会員・賛助会員）の拡充年間を通して
- ☆イ市学生親善訪問団受入事業 平成23年度は中止
- ☆学生親善訪問団派遣事業 7月27日（水）～8月11日（木）
- ☆広報「人と人」の発行 7月、12月（全戸配布）、3月
- ☆市民産業まつりに参加（バザー出店）11月
- ☆役員・委員会委員研修会の実施
- ☆姉妹校への協力年間を通して
- ☆英会話講座の開講 前期4月～9月・後期10月～3月
- ☆会員交流事業年間を通して
- ☆姉妹都市及び諸外国からの訪問者受入年間を通して
- ☆国際交流団体連絡協議会事業への参加年間を通して
- ☆災害時ボランティアの派遣年間を通して



佐野氏へ花束贈呈

生を受入れと派遣は2009年にインフルエンザの流行のために中止されましたが、2010年は双方斬新な企画で成功裡に実施。本年は東日本大震災の影響でイ市学生の来市は中止となり、当市からの派遣のみ実施が予定されています。

長い間お疲れさま

去る4月30日（土）に市民センターにおいて市民表彰が行われ、当協会からは会員拡充委員会の佐野光男氏が市民表彰の特別自治功労表彰を受けました。佐野氏は昭和61年から会員拡充委員となり平成3年副委員長、平成9年から今に至るまで委員長をつとめられました。25年の長きにわたって活躍された氏に総会後の懇親会で協会より花束を贈呈し、感謝の意を表しました。

英会話講座二コース

平成23年度前期講座開講式（受講者94名）が4月13日（水）に行われました。講師はバネッサ・コリー先生（豪）・ゴードン・ホワイト先生（英）です。

年会費納入のお願い

新年度の年会費は7月に会員拡充委員が広報紙を皆様にお届けの際、受取りに伺いますのでよろしくお願いたします。

真心が集まりました

当協会は5月21日に行われた総会の会場に、東日本大震災の被害者に対する義援金をお願いする募金箱を設置しました。受付および懇親会の席において参加者にお声掛けしたところ総額一四、二七四円が集まりました。多数の皆様のご厚情に感謝いたします。この募金は市役所を通じて「日本赤十字社」に寄託いたしました。

平成23・24年度国際友好協会役員・理事・評議員・委員会名簿									
役員・委員長・副委員長は常任理事を兼務（敬称略）									
名誉会長 特別顧問 顧問	渡部 尚	会 長 副 会 長 総 務 理 事 IT担当理事 会 計 理 事 監 事	岩瀬 由明	理事・評議員					
	熊木 令次		佐藤 公子	市川 暢男	小泉 征也	徳永 泰子			
	石津 元		室岡 孝洋	市川 守	後藤 敏子	中村 政夫			
	高梨 通宜		中村 智行	伊藤 克夫	小林 俊治	橋本眞佐子			
	泉 隆		折笠 文子	伊藤儀一郎	駒形 壽子	濱田 勲			
	宮沢 和人		高野 恵一	折笠 広樹	小山 善吾	東村 貴美			
	細淵 一男		安永 健司	柏木 慎	椎木 宏二	土方 義一			
	関 梅四郎		鈴木 泰男	加藤 大行	関 弘子	廣嶋 みさ			
	大野 茂		佐々木義徳	金田 可久	高橋 知恵	宮本甲子子			
			石黒 文夫	河合 幸子	竹村 元伸	山本 宏昭			
			清水 雅美	木下 清一	都築 健	澤田 泉			
委 員 会		委 員							
派 遣		◎小山 昭子		○縣 なか子		◎委員長		○副委員長	
		森中カツミ		桜井 武		谷口 弘美		吉川 敏子	
		中條 基成		上野 恵		金子 颯人		北久保真道	
学 生 受 入		◎野村裕美子		○伊藤 昭三		◎倉田喜久子		○石田 悦代	
		曾我部多美		尾崎 博子		中島 幸子		森山 真平	
		松永 英華		高橋 雅美		中川結美子		伊藤 友希	
		小林智香子							
英 会 話		◎神谷 五枝		○肥沼すみ子		◎沼澤 稔		○永井 尚子	
		中村美和子		叶岡 京美		伊藤真由美		原田 敏明	
		高野 恵一		野村 政恵		長谷川昌昭		横田とよ子	
広 報		◎伊藤 陽子		○倉田 哲也		○本宮 洋一		川村 弘史	
		武田 節子		中川 香		山口 紀子		杉田 美樹	
会 員 交 流		◎櫻井 貴子		○小谷 淑子		◎清水 幸子		小松 るみ	
		篠崎 圭子		小林 妙子		深野 聡		倉持 敦子	
日本庭園協力		◎鈴木 新吉		○川島 玉三		◎肥沼 和男		丸山 宙	
		増田 勝義		斉藤 松志		當間 義夫		志村 治男	
		川合萬次郎						川合 三男	
会 員 拡 充		◎宮崎 富義		○折笠 文子		○佐々木義徳		○高野 恵一	
		肥沼すみ子		肥沼 芳雄		内海 浩		町田 茂樹	
		宮本甲子子		徳永 泰子		縣 なか子		椿 真希子	
		大野 茂		櫻井 貴子		竹村 元伸		永井 尚子	
		川合みどり		神谷 五枝		高橋 知恵		野村裕美子	
		倉田 哲也		都築 健		佐野 光男		遠藤 鋼一	
		伊藤 昭三		清水 和人		仲尾委紀子		肥沼 茂男	
								伊藤 陽子	
								小山 善吾	
								小山 昭子	
								小林 妙子	
								薮原 文子	

英語・食べ物・文化…なんでも挑戦!!

第29回 学生派遣団 7月27日～8月11日

今回の学生派遣団には国際交流に加え「地震に負けず頑張る日本」を理解してもらう仕事が増えました。

派遣学生たちが今何を期待し、何を体験したいと考えているのか聞いてみました。帰国報告会で彼らに会うのが楽しみです。

引率者 花岡 真琴 野口町

18年前に派遣団員として参加しましたが、今回は縁あって引率者としての参加となります。

海外旅行には、30回くらい行っていますので、団員の皆さんにとってより有意義な派遣になるようにエスコートしたいと思います。そして、18年ぶりにホストファミリーや友人たちと再会したいです。

仲條 高幸(20) 恩多町

海外には3回行きましたが、一度アメリカに行つてみたいと思っていました。今まで勉強してきた英語がどのくらい通じるかを試し、長くつき合っていける友達を作りたいです。

森 裕規(16) 富士見町

今回、海外に行くのは初めてです。アメリカには以前から興味がありました。大きなアトラクションなど、日本にはないものに圧倒されてみたいです。

森山 雄介(15) 美住町

昨年同じプログラムに参加し



た兄から色々な話を聞いて、自分も行きたいと思いました。たくさん友達を作り、アメリカの文化を直接感じ日本の文化を教えたいです。

原典路(16) 野口町

海外へ行くのは今回がはじめてです。色々な食べ物を食べた

り、モールやスーパーで買物をしたり、広大な景色を見るなどできることは全部やり、視野を広げ、英語力をつけて帰ってきたいです。

當間 実結(18) 久米川町

自分の英語力を試し、アイスホッケーや大好きな洋楽について話してみたいです。モールへ行ったり、アメリカならではの食べ物など日本との違いを体験したいです。

三ヶ尻 理乃(16) 栄町

今回参加することにより、東村山市とイ市との国際交流に貢献したいと考えました。日本と違う所をたくさん見て体験し、自分の英語がどのくらい通じるのか試してみます。

松本 恵里佳(15) 本町

地域の人やイ市の人たちと交流するきっかけになると思い、応募しました。スーパーで大量

派遣学生の主な活動

1. オリエンテーション
2. 一泊研修（興福寺・八王子市）
3. 英会話レッスン
4. 壮行会（7/27）
市民センター、午前10時より
5. 派遣（7/27出発、8/11帰国）
6. 帰国報告会（8/18）
市民センター、18時より

初めての海外です。今まで勉強した英語を使つてたくさんの人とふれ合い、話をしてみたいです。そして、色々な経験をしたいと思います。

田中 利佳(15) 本町

学校で習っている英語を実際

安東 春佳(15) 美住町

パイオニアリッジ中学校との交流について

立川第七中学校教諭 谷口 弘美
(前東村山第二中学校教諭)

回田小学校とグレンデール小学校のような姉妹校の交流を中学校にも、という話が現実化したのが'08年。教育委員の先生方のご尽力のおかげで、東村山第二中学校とパイオニアリッジ中学校が交流を始めることとなりました。パイオニアリッジ中ではアルレダ・アダマス先生が担当者となり、私とのメールのやりとりが始まりました。'09年に、パイオニアリッジ中ではJapanese Clubを、二中はSister City Friendship Club（姉妹都市交流部）、略してSCFCというクラブを立ち上げ、活動が始まりました。二中からはSCFCの生徒と相談をし、メンバーの写真や自己紹介カードを送る、二中の様子を英文学校便りNEWS LETTERとして送る、クリスマスカードを送る、などできることから始めました。'10年夏イ市の高校生が本校を訪れた際には、本校の部活動体験をSCFCのメンバーが案内し、イ市の学生達との交流を楽しみました。その後のWELCOME PARTYや交流会にも参加させていただきました。また、初めての試みでしたが、学生訪問団とともに来日されたパイオニアリッジ中のアルレダ・アダマス先生に本校の3年生に対して、イ市紹介の授業をしていただきました。

現在も英語科の職員顧問のもと、SCFCのメンバーは二中をパイオニアリッジ中の生徒に知ってもらうため英文NEWS LETTERの作成に取り組んでいます。

ありがとう!! 谷口先生

10年以上にわたり様々な活動に参加して下さいました谷口先生が他市へ異動されました。これまで蒔いて下さった多くの友好の種が引き継がれ育っていくことを願っています。

広報紙づくり講習会

5月17日にサンパルネで市民向けに読売新聞主催「広報紙づくり講習会」が開催されました。広報委員も参加し、解りやすい内容はとても参考になりました。

(広報委員会)

事務局だより

当協会がお世話になっている生活文化課の市民部武田猛(前)次長は会計管理者(部長職)へ、原子南(前)課長補佐は健康課課長補佐へ異動され、屋代尚子氏が生活文化課長補佐へ昇任されました。

編集後記

5月の総会で役員改選が行われ、新しい顔ぶれでスタートしました。

東日本大震災から3カ月がたち、ライフスタイルを見直した人も多いことでしょう。イ市からは安否を尋ねる声や励ましが多く寄せられ、改めて両市の友好の絆を実感しました。今月イ市を訪れる派遣生には親善大使の役目を担ってほしいですね。

花みずきコーナー



イ市姉妹都市委員会理事会で下記のように役員改選が行われました。
また姉妹都市委員会は6つの委員会を創設し、当市との交流をさらに充実させることになりました。

《新役員》
会長：John Seeley（ジョン・シーリー）
副会長：Twyla Olson Hahn
（トアワイラ・オルソン・ハン）
会 計：Jeannae Segra Brown
（ジネエイ・セグラ・ブラウン）
総 務：Alreda Adams
（アルリーダ・アダマス）

《委員会》
1. さくらまつり委員会 2. 交流委員会
3. 企画委員会 4. 学生委員会
5. 財務委員会 6. 歴史記録委員会

なお、5月22日にミズーリ州で大きな竜巻被害がありました。被災地はイ市と200km以上離れているので被害はなかったそうです。

(会員交流委員会)